

ペルー国・コスモス太陽コロナ観測所の開設

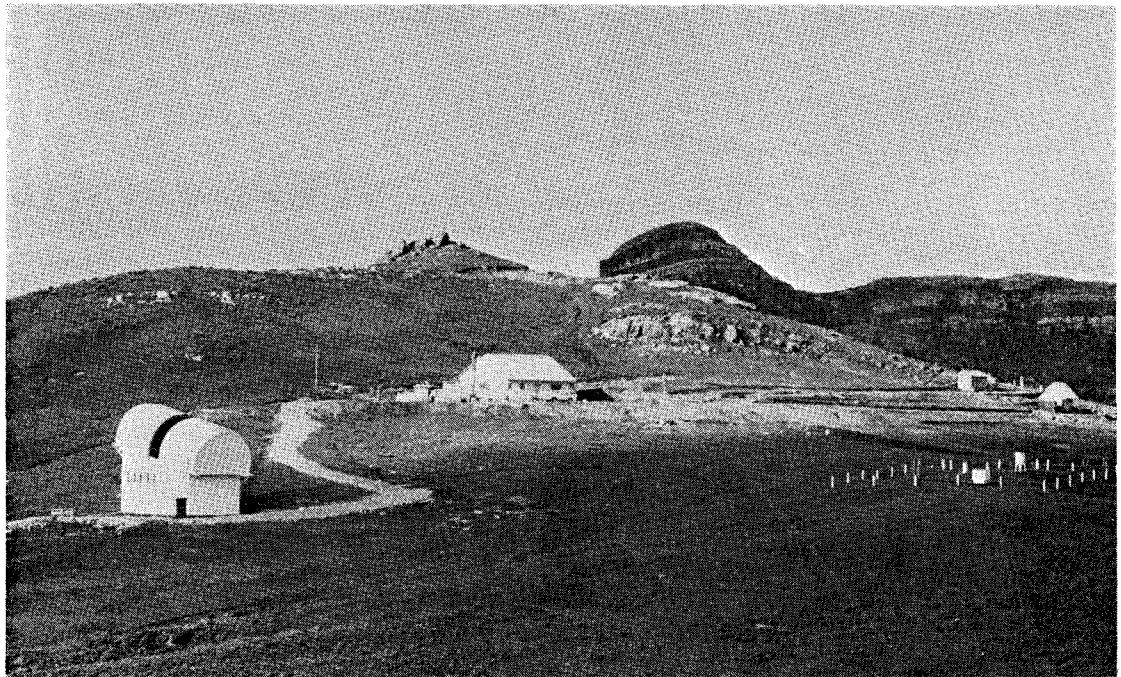
清水 彊*

ペルー国はアンデス高原の標高 4600 米の地点コスモスに太陽コロナ観測所が設置され、その開所式が行われたのは昨年(1978)の10月22日のことである。これに参列したのは、主宰者側ではペルー国立地球物理研究所長ギーセケ氏は勿論、ワンカイヨ観測所からの同所長デル・カステイヨ氏、同所太陽観測部長石塚睦氏、野村常雄氏、その他のペルー人関係職員であり、ペルー側来賓としては文部大臣代理第3教育地方長パルド氏、サン・マルコス大学名誉教授ダビラ氏のほか2、3の学界の人達および地方の有力者等であった。また、日本側来賓としては、大使長崎弘氏の代理として参事官川崎氏、国際協力事業団ペルー事務所長岩波氏、ワンカイヨ在住の日系の人達のほか、東京天文台の森本雅樹氏が国際協同研究のためブラジルに渡航の途中を末元同台長の代理として、また筆者は既に解散したペルー国コロナグラフ建造期成会の代表として招かれて参列した。このコスモス観測所の環境や建物と、観測棟内で行われた開所式は添付写真によ

って推察を戴きたい。

南米に始めて出現したこの太陽コロナ観測所は、今から1/4世紀も以前に遡る1951年に、故上田穰博士が京大教授として生駒山太陽観測所を主宰されていた事情から、わが国でコロナグラフを建造してペルー国に寄贈することにより、太陽コロナの国際協同観測を行なうことを提案されたのが発端であるが、漸くそれが実現したものである。この間の経緯は、太陽観測年の始まった1957年から今日に至るまでワンカイヨ地球物理観測所で太陽の常時観測を遂行の傍ら、太陽コロナ観測所の開設を各方面に精力的に働きかけてきた石塚氏の手記(自然, 31巻2号)に詳しいし、またコスモス観測所に設置されたわが国から寄贈のコロナグラフの特性も既に本誌(59巻, 12号)に報じられているので、ここには繰り返さない。

ただし、困難な経済状態下のペルー国内にあって、コスモス観測所の設立が推進できたのは、わが国の官界・



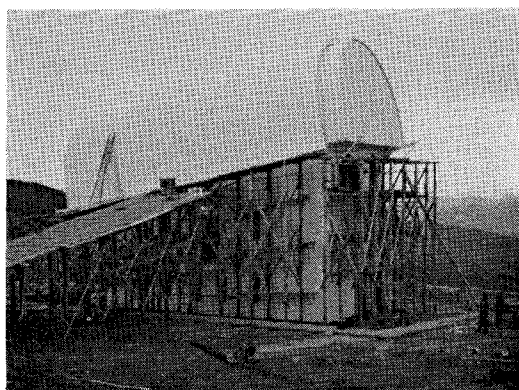
コスモス観測所の全景

左端：コロナグラフが設置された観測棟，中央：宿泊棟，右端：地磁気観測棟

* 仏教大学, T. Shimizu: The Establishment of the Cosmos Solar Corona Observatory in Peru.

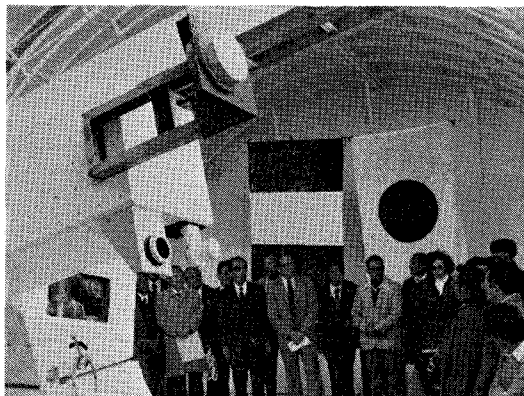
学界・民間の多くの団体や個人の方々のみでなく、ペルー国在住の日系の方々をも含む広範囲の人達の厚意ある物・心の援助により、コロナグラフの建造とペルー国への輸送、さらにその後における太陽電波観測機や測定機類の設置のほか、石塚・野村両氏の JICA 派遣方、ワンカイヨ観測所員の日本留学研修への配慮など、多種多様の国際協力のお蔭が大きかったことは明らかである。

なお、筆者はこれに関わりを持った者の1人として、この紙面をお借りして、今まで直接・間接に御援助を賜った多数の方々に謝意を表わすとともに、永い念願であったコスモス太陽コロナ観測所の開設を簡単ながら報告できたことは悦びであり、その機会を与えられた編集者にお礼を申し上げたい。



最終仕上げ段階の観測棟

宿 泊 棟→



コスモス観測所の開所式
(1953年10月22日、観測棟内)

左端はわが国より寄贈のコロナグラフ、人物は左から順次3人目、大使館参事官川崎氏、サンマルコス大学名誉教授ダビラ氏、東京天文台森本氏、筆者、1人おいて、ペルー国立地球物理研究所長ギーセケ氏、1人おいて、ペルー国文部大臣代理。



学会だより II

☆名簿発行について

前回は昭和51年12月末日現在の名簿を発行しました。その後会員の入退会、住所変更等も多く、現在の名簿では不自由となり、新しい名簿の要望が強くなりました。名簿作成原稿のための往復ハガキを郵送致しましたので、必要事項を御記入の上御返下下さい。もし返送のない場合は古い記載がそのままなることを御了承下さい。

☆ ☆ ☆

雑報 I

ブラッドフィールド彗星 (1979 c) の発見

1979年6月26日東京天文台着の天文電報によると、オーストラリアのブラッドフィールドは、彼にとって9個目の新彗星を1979年6月24.417日発見した。位置と光度は次の通り。

$$\alpha = 8^{\text{h}}37^{\text{m}} \quad \delta = -1^{\circ}20' \quad 10 \text{等}$$

トレガスキーによる翌日の観測では北西に移動中であるという。

今年の彗星は、パロマーのコワルによる1月27.11250日のコワル新周期彗星(1979 a)、オーストラリアの122 cm シュミットで1979年2月2.69097日にスタンデンが撮影した乾板から検出されたダニエル周期彗星(1979 b)に次ぐ3番目のものである。(香西洋樹)